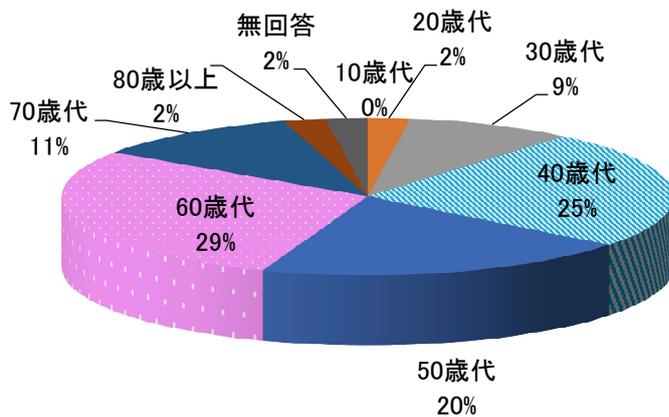


## 6 漁業関係者アンケート調査結果

## 6 漁業関係者アンケート調査

### (1) 回答者の属性

#### ① 年齢



### (2) 調査項目

漁業関係者アンケートの調査項目は下記のとおり。

調査項目	設問番号
環境保全や環境に配慮した取り組みについて	設問1～設問3
水揚げしているものと環境の変化について	設問4～設問5
環境保全につながる活動の状況や認知度について	設問6～設問9
環境保全の取り組みに関する考えについて	設問10～設問11
回答者属性	年齢
自由回答	—

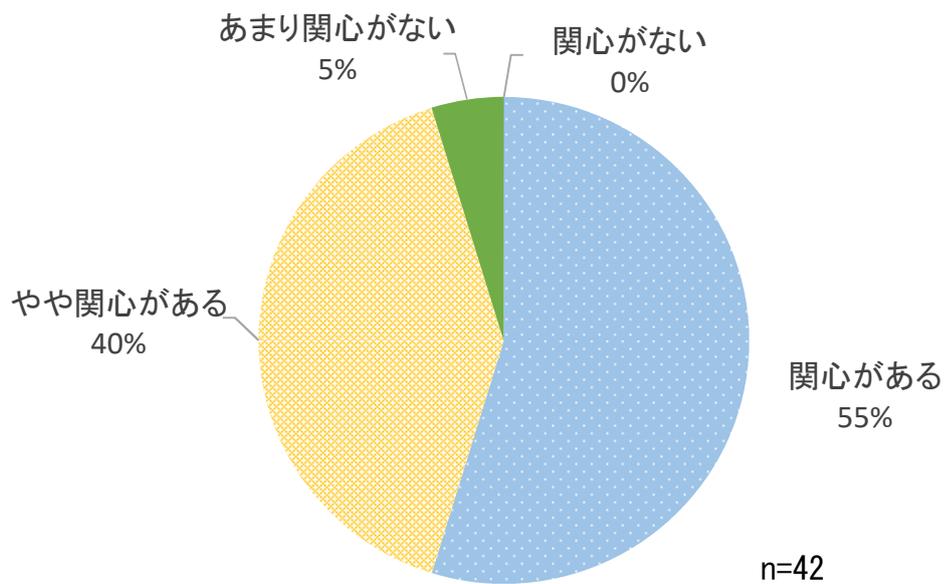
### (3) 集計結果

#### ■環境保全や環境に配慮した取り組みについて

**【設問1】 あなたは環境保全や環境に配慮した取り組みに関心がありますか。(1つのみ)**

<全体傾向>

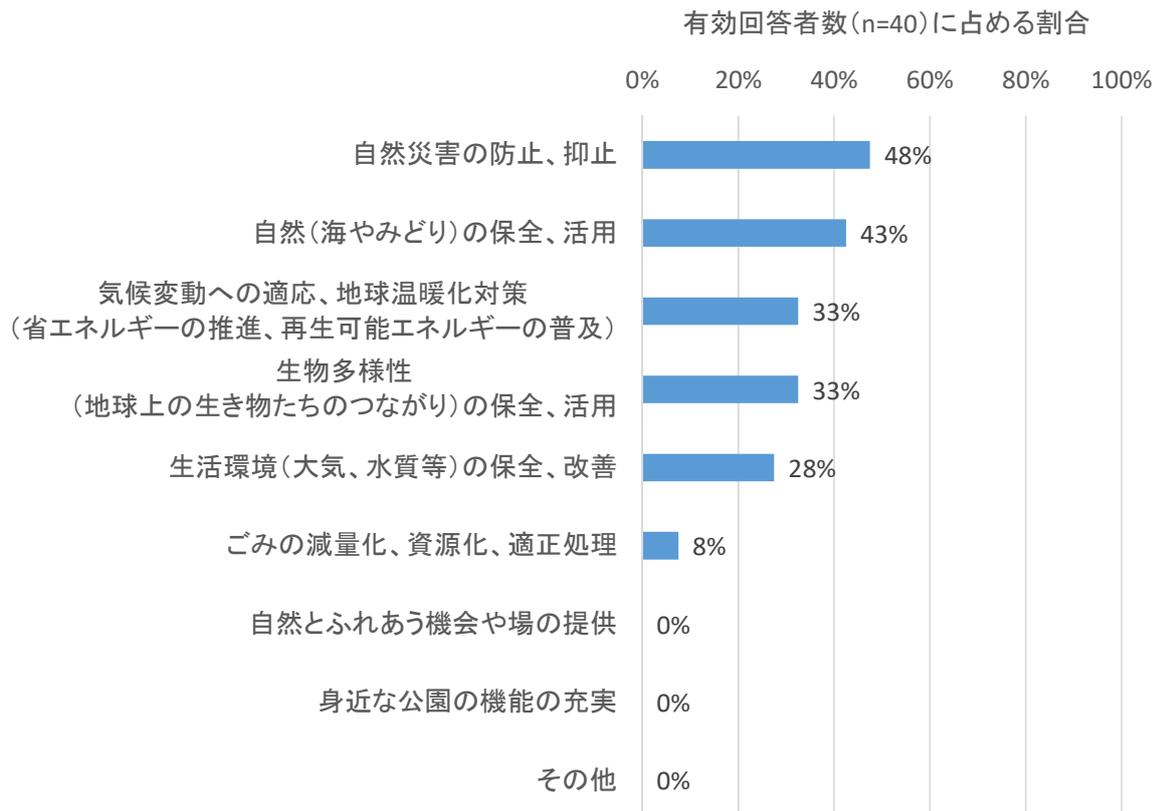
● 「関心がある」「やや関心がある」の回答で 95%を占めており、アンケートに回答した多くの漁業関係者が環境や環境に配慮した取り組みに関心を持っていることが伺える。



**【設問2】 設問1で「ア. 関心がある」、「イ. やや関心がある」と答えた方にお尋ねします。  
あなたはどのようなことに関心がありますか。(2つまで)**

<全体傾向>

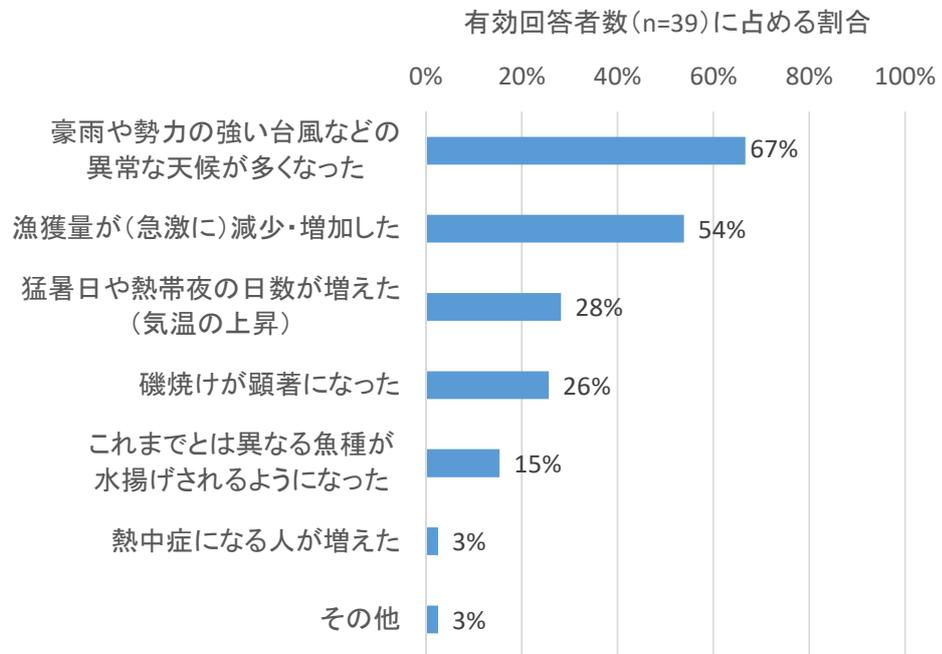
- 市民、農業関係者と同様に「自然災害の防止、抑止」が48%で最も多くなった。
- また、「自然の保全、活用」、「気候変動への適応、地球温暖化対策」「生物多様性の保全、活用」など、漁業に大きく関係する項目についても、関心が寄せられている。



**【設問3】 気候や環境の変化による影響について、特に感じていることは何ですか。(2つまで)**

<全体傾向>

- 「豪雨や勢力の強い台風などの異常な天候が多くなった」が最も多く 67%、次いで「漁獲量が減少・増加した」で 54%となっており、気候変動による異常な天候が漁業に影響を与えていることが伺える。

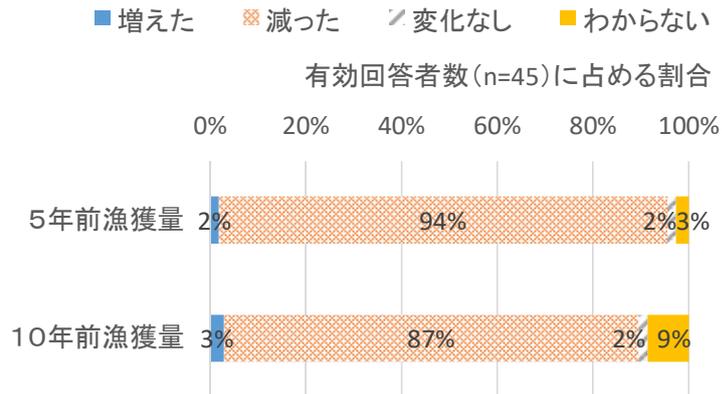


■水揚げしているものと環境の変化について

**【設問4】** あなたが主に水揚げしているものについて、3つまでご記入ください。  
※基準年(比較時期)は令和元年(2019年)としてください。

<全体傾向>

- 5年前および10年前と比べて、漁獲量が「減った」が80%以上となり、気候変動が漁獲量に影響を与えていることが想定される。



【収穫量の変化】

水揚げしているもの	とれる場所	5年前漁獲量				10年前漁獲量			
		増えた	減った	変化なし	わからない	増えた	減った	変化なし	わからない
マダイ	久里浜沖～剣崎沖、鴨居沖	0	3	0	0	0	3	0	0
アワビ	佐島沖、芦名沖、長井沖、長井地磯、久留和沖	0	7	0	0	0	7	0	0
タチウオ	横須賀～久里浜沖	1	0	0	0	1	0	0	0
マダコ		0	1	0	0	0	1	0	0
ヒラメ・カレイ	鴨居沖	0	1	0	0	0	1	0	0
カワハギ	鴨居沖	0	4	0	0	0	3	0	1
カレイ	鴨居沖	0	2	0	0	0	2	0	0
サカナ	鴨居	0	0	0	1	0	0	0	1
タコ	佐島沖、秋谷沖、久留和沖、長井沖、久留沖、鴨居	0	15	0	1	0	13	0	2
イセエビ	佐島沖、秋谷沖、芦名沖	0	7	0	0	0	7	0	0
シラス	相模湾東部	0	1	0	0	0	1	0	0
ヒラメ	佐島沖 長井	0	2	0	0	0	2	0	0
カツオ	佐島沖 相模湾	0	2	0	0	0	2	0	0
サバ	秋谷沖 芦名沖	0	2	0	0	0	2	0	0
アマダイ	江ノ島沖 芦名沖	0	2	0	0	0	2	0	0
アジ	芦名沖 久里浜沖	0	2	0	0	0	2	0	0
カマス	葉山沖 走水沖	0	3	0	0	0	2	0	1
サザエ	長井沖 荒崎 佐島沖 芦名沖 秋谷沖 長井地磯 久留和沖	0	14	0	0	0	12	1	1
アオリイカ	佐島沖 長井沖	0	1	0	0	0	1	0	0
ノリ	走水沖	0	3	0	0	1	2	0	0
サヨリ	久留和沖 走水沖 佐島沖	0	3	0	0	0	2	0	0
アサリ	走水海岸	0	2	0	0	0	2	0	0
アカムツ	久里浜沖	0	1	0	0	0	1	0	0
マコカレ		0	0	0	0	0	0	0	0
タイ	鴨居沖	0	1	0	0	0	1	0	0
インダイ	鴨居沖	0	1	0	0	0	1	0	0
カイ	鴨居	0	0	0	1	0	0	0	1
カサゴ	佐島沖 秋谷沖	0	2	0	0	0	2	0	0
コチ	佐島沖	0	1	0	0	0	1	0	0
キハダマグロ	相模湾 佐島沖	0	2	0	0	0	2	0	0
イカ	秋谷沖	0	1	0	0	0	0	0	0
ホウボウ	佐島沖	0	0	0	0	0	0	0	0
イトヨリ	芦名沖	0	1	0	0	0	1	0	0
トラフグ	江ノ島沖	1	0	1	0	1	0	0	1
ワカメ	久留沖 大津浦 走水沖	0	1	1	0	0	1	1	0
トコブシ	長井沖	0	1	0	0	0	1	0	0
コノシロ	佐島沖	0	0	0	0	0	0	0	0
マコガレイ	走水沖	0	1	0	0	0	1	0	0
ワラサ	久里浜沖	0	1	0	0	0	1	0	0
メバル	鴨居沖	0	1	0	0	0	1	0	0
スズキ	相模湾 秋谷沖	0	2	0	0	0	1	0	0
イワシ	芦名沖	0	1	0	0	0	1	0	0
レンコダイ	芦名沖	0	1	0	0	0	1	0	0
マイカ		0	1	0	0	0	0	0	1
コンブ	走水沖、走水海岸	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	7	0	0	0	5	0	0

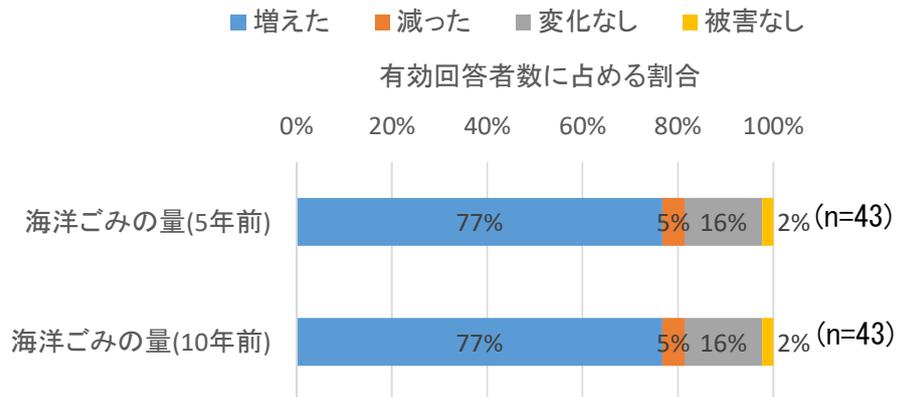
**【設問5】 漁業を取り巻く状況についてご記入ください。**

**(5年前と10年前についてそれぞれ○印を1つ付けてください)**

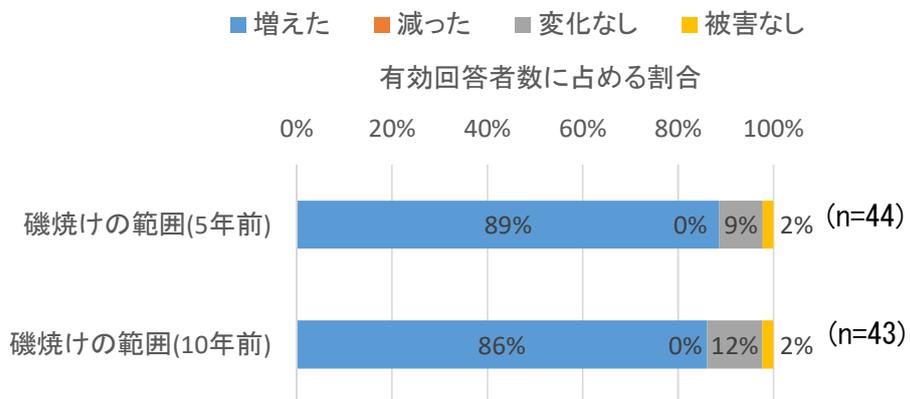
<全体傾向>

- 「海洋ごみの量」、「磯焼けの範囲」や「赤潮が影響を及ぼす範囲」「赤潮の発生回数・頻度」について「増えた」との回答が多くなった。

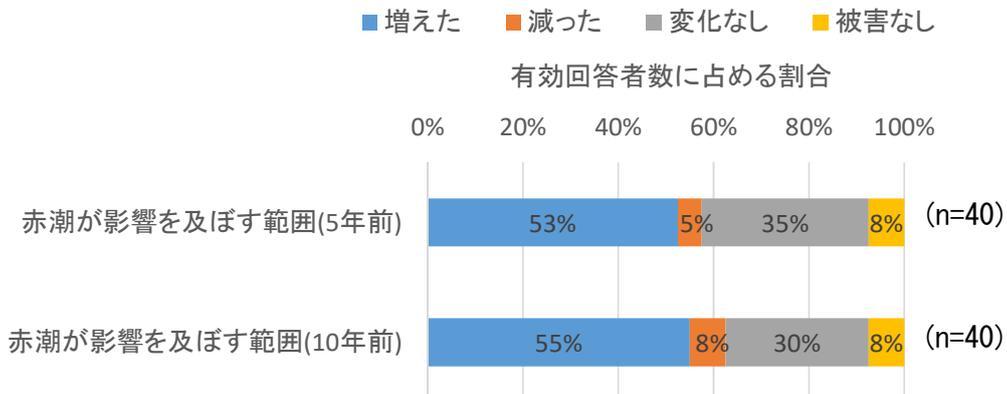
**【海洋ごみの量】**



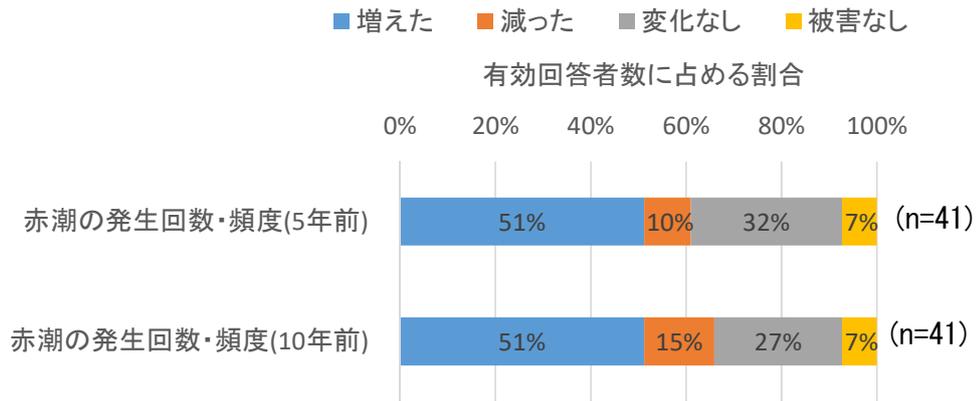
**【磯焼けの範囲】**



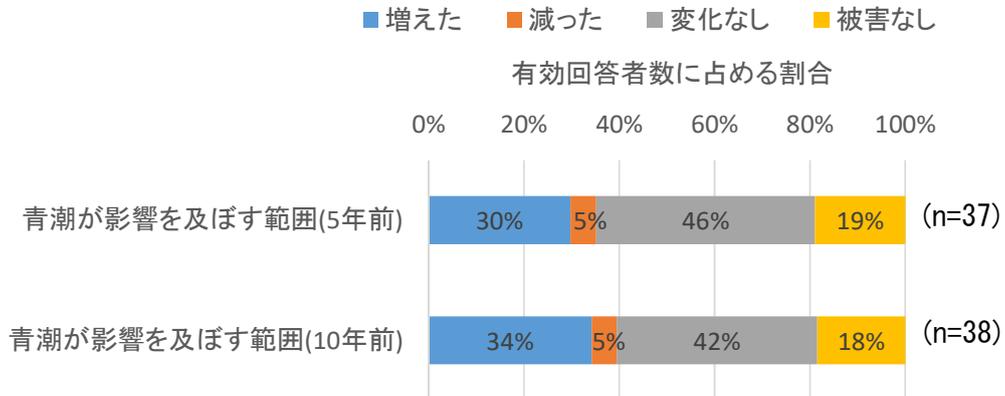
**【赤潮が影響を及ぼす範囲】**



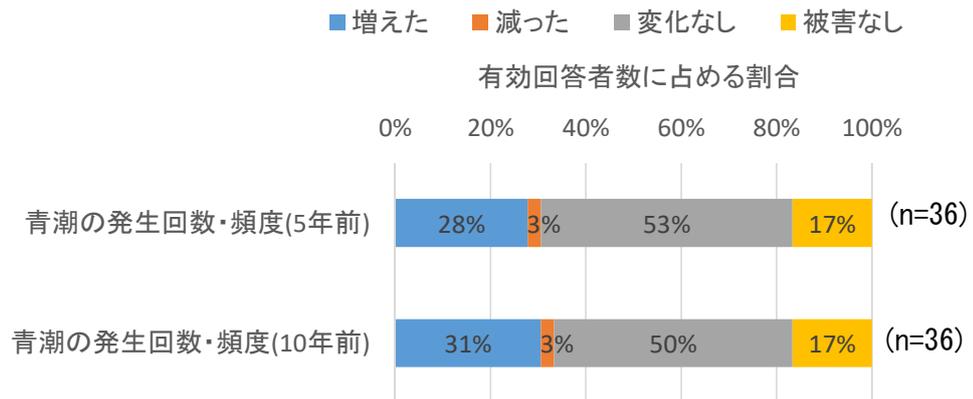
【赤潮の発生回数・頻度】



【青潮が影響を及ぼす範囲】



【青潮の発生回数・頻度】



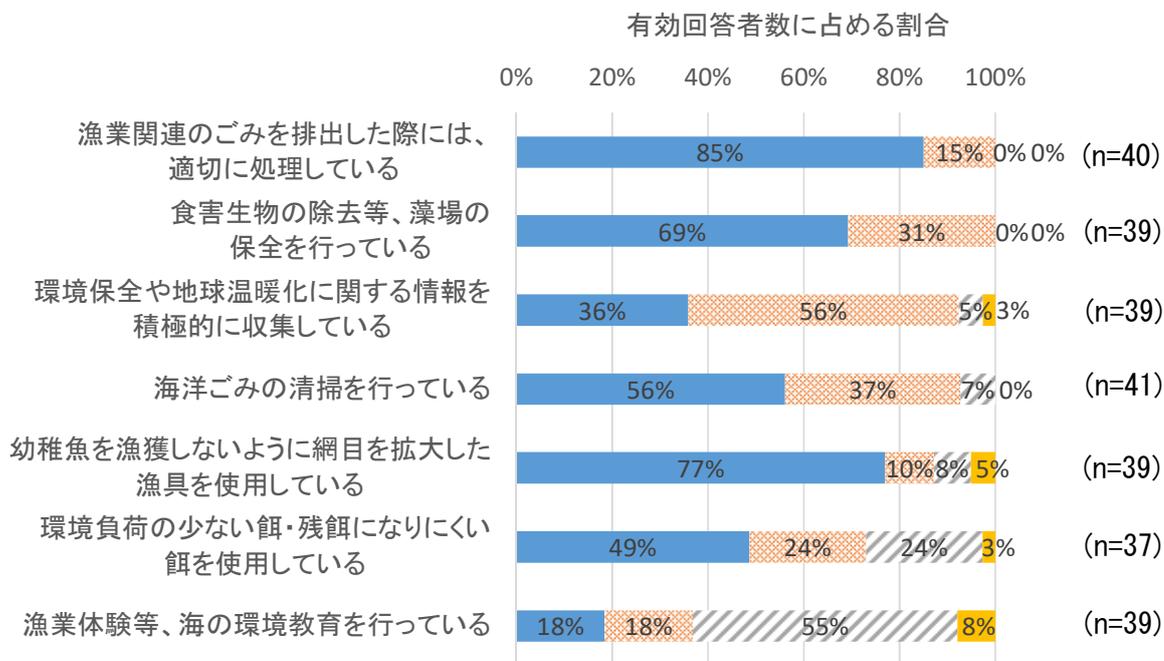
■環境保全につながる活動の状況や認知度について

**【設問6】 あなたは環境に配慮した以下の行動に取り組んでいますか。**  
**(項目ごとに○印を1つ付けてください)**

<全体傾向>

- 「漁業関連ごみの適切な処理」「食害生物の除去、藻場の保全」は、全ての事業者が「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」と回答し、高い意識が伺える。また、「幼稚魚を漁獲しないように網目を拡大した漁具を使用している」についても「いつも取り組んでいる」割合が77%となっており、取り組みが浸透している。
- 一方で、「漁業体験等、海の環境教育を行っている」については55%が「取り組んでいない」と回答している。

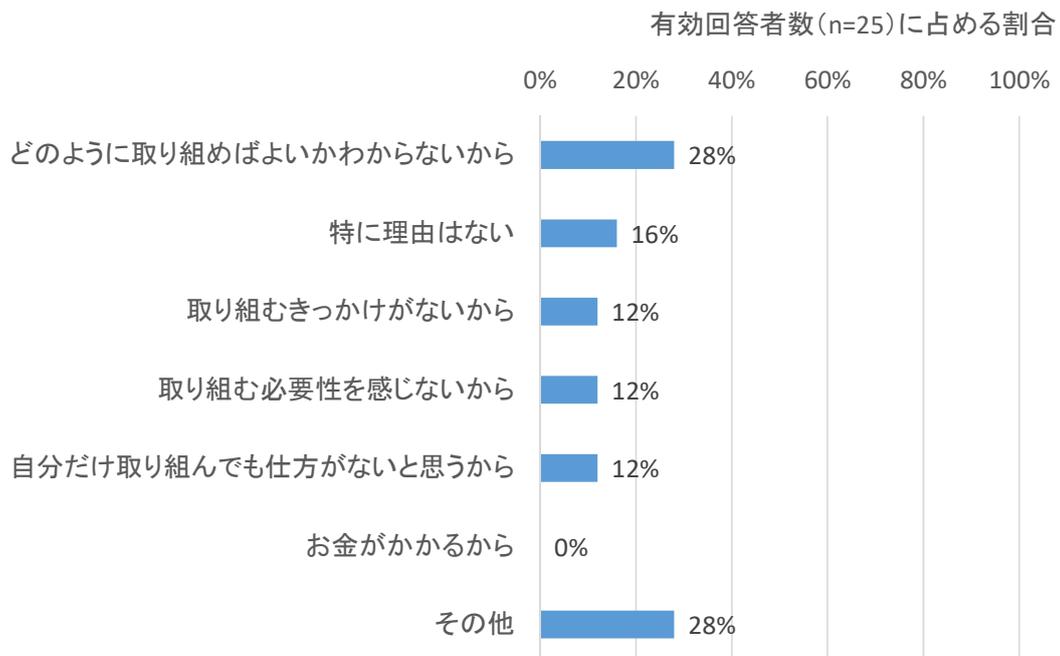
■いつも取り組んでいる    ■時々取組んでいる    ▨取組んでいない    ■今後取り組む予定



【設問7】 設問6で1つでも「取り組んでいない」を選んだ方にお尋ねします。  
「取り組んでいない」主な理由は何ですか。(2つまで)

<全体傾向>

- 「どのように取り組めばよいかわからないから」との回答が最も多く 28%、また「その他」の割合も 28%で同率となり、人手不足や取り組みのメリットが分からないという理由が上がった。



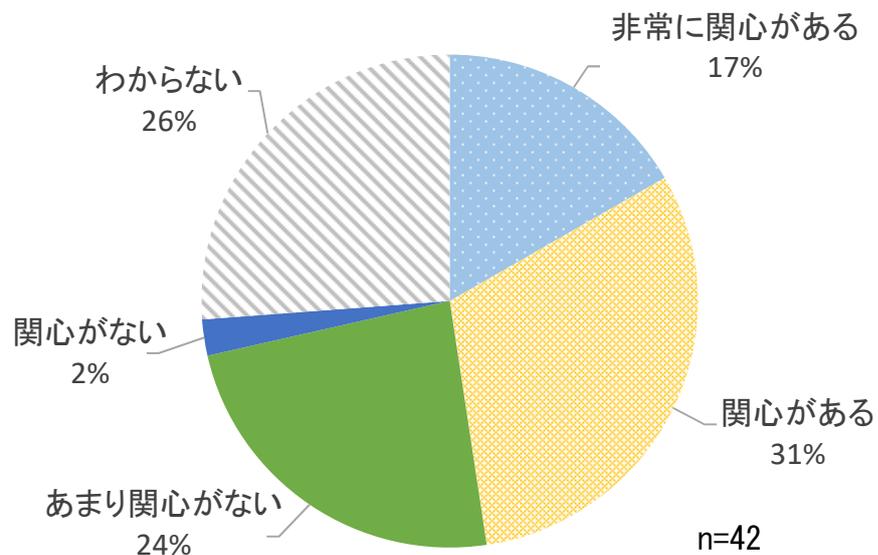
<その他の意見の例>

- ・ 人手が足りない
- ・ 取組によるメリットが無い
- ・ すでに取り組んでいる

【設問8】 現在、事業活動に SDGs(持続可能な世界を実現するための 17 のゴール、169 のターゲットから構成された国際的な目標)視点を取り入れることが注目されていますが、漁業に SDGs の視点を取り入れることに関心はありますか。(1つのみ)

<全体傾向>

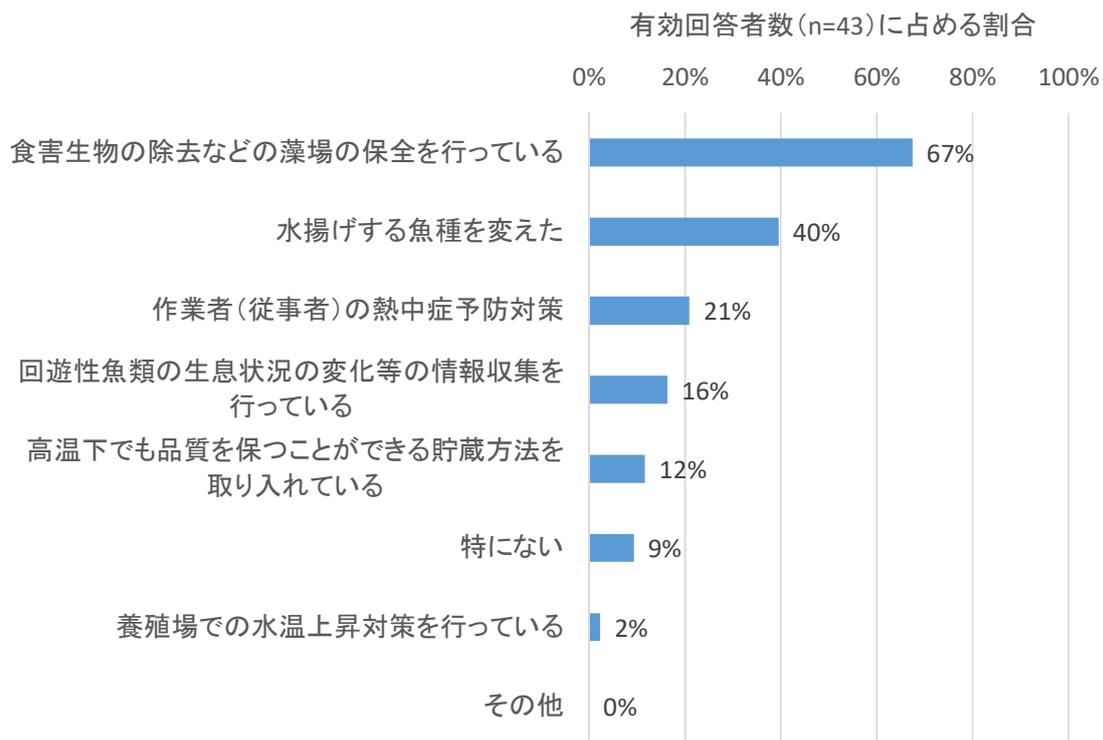
- 「あまり関心がない」「関心がない」「わからない」で 52%を占めており、漁業関係者の中で SDGs の内容や意義が浸透していないことが伺える。



**【設問9】 漁業を営むうえで、気候や環境の変化への対策として取り組んでいることは何ですか。  
(2つまで)**

<全体傾向>

- 「食害生物の除去、藻場の保全を行っている」との回答が67%、「水揚げする魚種を変えた」が40%となり、農業関係者と同様に、気候の変化に対する取り組みが進んでいることが伺える。

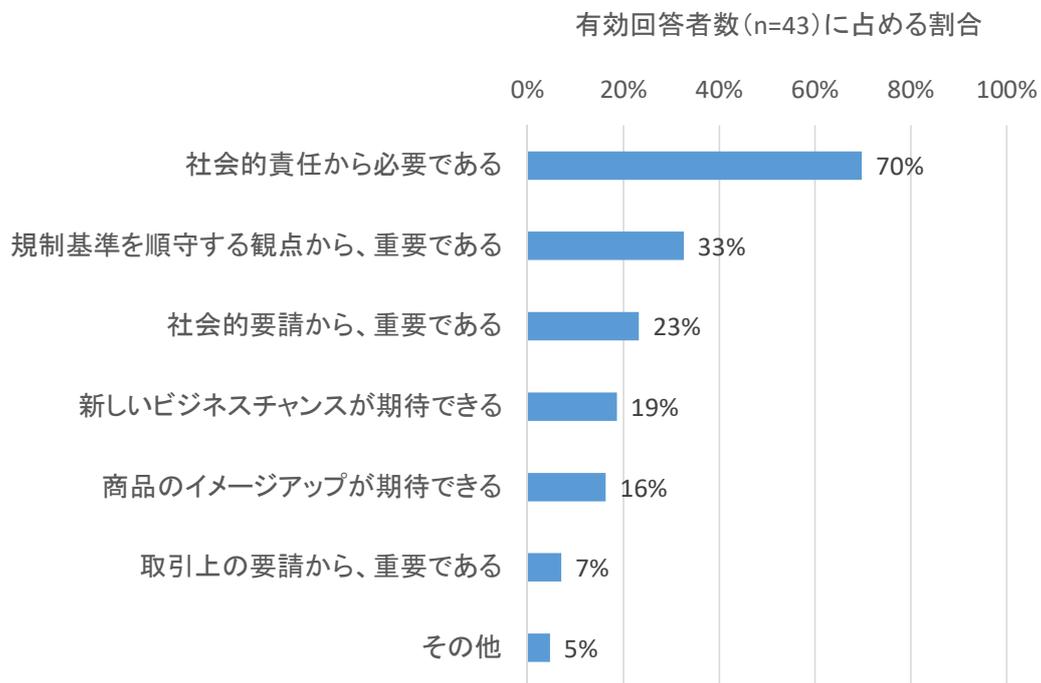


■環境保全の取り組みに関する考えについて

**【設問 10】 環境保全や地球温暖化防止の取り組みを行うことについて、どのように考えていますか。  
(2つまで)**

<全体傾向>

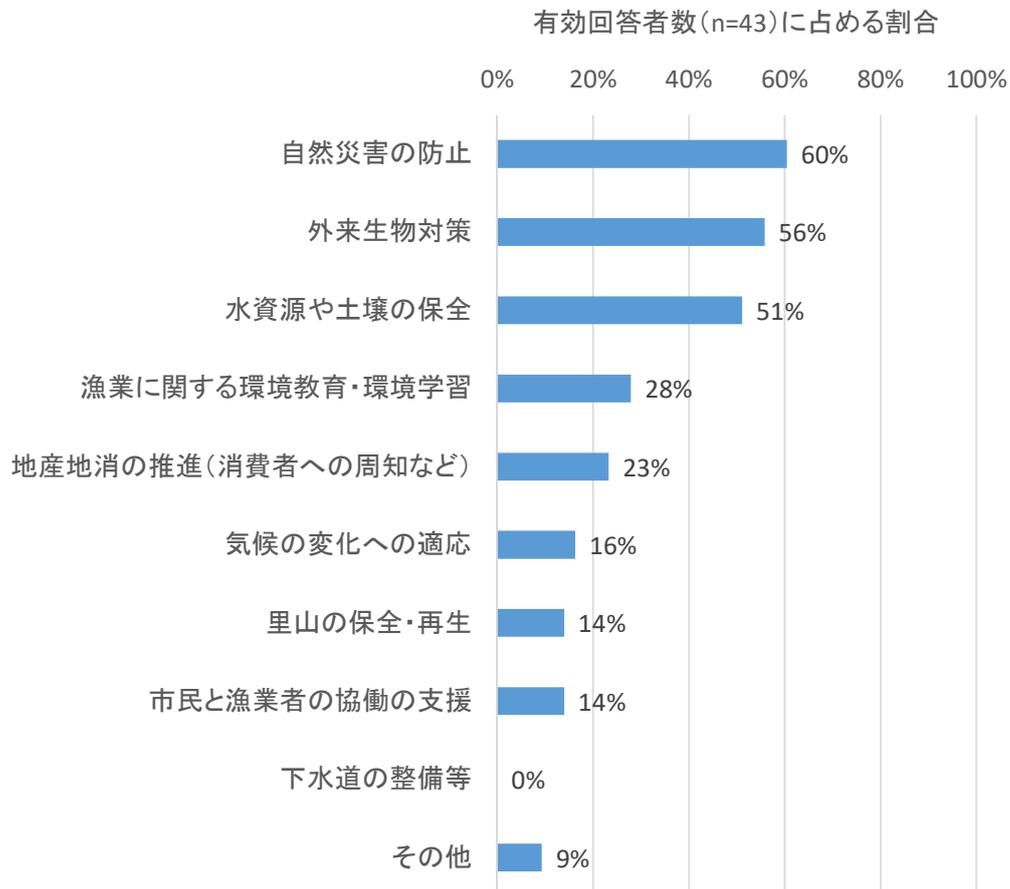
- 社会的責任や規制遵守から、地球温暖化防止の取り組みが重要と考えている関係者が多いことが分かった。
- 一方で、「新しいビジネスチャンスが期待できる」「商品のイメージアップが期待できる」は 20%以下となった。



**【設問 11】 今後、市に取り組んでほしい施策はどのようなものですか。(3つまで)**

<全体傾向>

- 「自然災害の防止」が最も多く 60%、次いで「外来生物対策」が 56%、「水資源や土壌の保全」となつた。



【自由記載欄】このアンケートや市の環境に関するご意見などがありましたら、ご記入ください。

【回答7人、無回答 38人】

※同様の趣旨のご意見は集約しています。

漁場の保全(4件)	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 漁場回復に力を入れてない。魚の値段が上がるようにしてほしい。</li><li>・ 小田和湾の浄水施設の水による磯焼け被害に関してしっかり考えて欲しい。</li><li>・ 年々上昇している海の水位に港が対応できずに道具が海に流れてしまい結果海洋ゴミにつながると思うので港を直して欲しい。</li><li>・ 街づくりや陸上の環境と同様に海の環境にももっと気を入れて欲しい。</li></ul>
環境美化(2件)	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 海のゴミを拾うのは漁師など海に関わる人間は当然である。その事をする人間が少なすぎる。海をきれいにするのが常識だと思わせる工夫をして欲しい。</li><li>・ 川、海にゴミを捨てないで欲しい。</li></ul>
地球温暖化対策(1件)	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 温暖化により異常潮位、大型台風等の自然災害対策を早急に地元の意見を取り入れて行っていただきたい。</li></ul>

(4) 漁業関係者アンケート調査票

横須賀市の環境についてのアンケートご協力をお願い

現在、横須賀市では、令和4年度からの新たな環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の策定に着手し、検討を進めています。

今回お送りしたアンケートは、漁業関係者のみなさまの現状を把握するとともに、環境施策や環境に対する思いなどをお伺いし、計画づくりに活用させていただくために実施するものです。

お忙しい中、お手数をおかけしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和2年(2020年)8月

横須賀市長

上地克明

■アンケート調査について

- ・アンケートは、無記名です。
- ・調査票は、ランダムに封入しているため、回答者が特定されることはありません。
- ・この調査票は、横須賀市漁業協同組合様を通じて、漁業関係者 80 人の方にお渡しています。
- ・ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、目的以外に利用することはありません。
- ・調査結果は、後日、市ホームページ等に掲載する予定です。
- ・このアンケートは、株式会社オリエンタルコンサルタンツに業務委託し、横須賀市が実施するものです(同封の返信用封筒のあて先(提出先)は委託業者になっています)。

■回答方法について

調査票にご記入いただき、8月28日(金)までにご回答(ご投函)ください。

- ・設問ごとに該当するもの(複数回答の設問もあります)に○印を付けてください。
- ・一部、記述いただく部分もあります。
- ・調査票を同封の返信用封筒(無記名・切手不要)に入れ、郵便ポストにご投函ください。

■お問い合わせ先

このアンケートに関するご不明な点は、下記までお問い合わせください。

横須賀市 環境政策部 環境企画課

TEL 046-822-9661 FAX 046-821-1523 e-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

## ■環境保全や環境に配慮する取り組みについて

**設問1** あなたは環境保全や環境に配慮した取り組みに関心がありますか。(1つのみ)

- ア. 関心がある ⇒ **設問2** 以降へ
- イ. やや関心がある ⇒ **設問2** 以降へ
- ウ. あまり関心がない ⇒ **設問3** 以降へ
- エ. 関心がない ⇒ **設問3** 以降へ

**設問2** 設問1で「ア. 関心がある」、「イ. やや関心がある」と答えた方にお尋ねします。  
あなたはどのようなことに関心がありますか。(2つまで)

- ア. 自然(海やみどり)の保全、活用
- イ. 生物多様性(地球上の生き物たちのつながり)の保全、活用
- ウ. 自然災害の防止、抑止
- エ. 生活環境(大気、水質等)の保全、改善
  - ・ 気候変動への適応、地球温暖化対策(省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの普及)
- カ. ごみの減量化、資源化、適正処理
- キ. 自然とふれあう機会や場の提供
- ク. 身近な公園の機能の充実
- ケ. その他( )

**設問3** 気候や環境の変化による影響について、特に感じていることは何ですか。(2つまで)

- ア. 猛暑日や熱帯夜の日数が増えた(気温の上昇)
- イ. 熱中症になる人が増えた
- ウ. 豪雨や勢力の強い台風などの異常な天候が多くなった
- エ. 漁獲量が(急激に)減少・増加した
- オ. これまでとは異なる魚種が水揚げされるようになった
- カ. 磯焼けが顕著になった
- キ. その他( )

■水揚げしているものと環境の変化について

設問4 あなたが主に水揚げしているものについて、3つまでご記入ください。

※基準年(比較時期)は令和元年(2019年)としてください。

回答例	水揚げしているもの		とれる場所	
	たこ		西浦賀沖	
	5年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない
	10年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない

1	水揚げしているもの		とれる場所	
	5年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない
	10年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない

2	水揚げしているもの		とれる場所	
	5年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない
	10年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない

3	水揚げしているもの		とれる場所	
	5年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない
	10年前と比較した漁獲量(1つのみ)			
	増えた	減った	変化なし	わからない

**設問5** 漁業を取り巻く状況についてご記入ください。  
 (5年前と10年前についてそれぞれ○印を1つ付けてください)

	状況	経年変化	増えた	減った	変化なし	被害なし
ア	赤潮の発生回数・頻度	5年前と比較して				
		10年前と比較して				
イ	赤潮が影響を及ぼす範囲	5年前と比較して				
		10年前と比較して				
ウ	青潮の発生回数・頻度	5年前と比較して				
		10年前と比較して				
エ	青潮が影響を及ぼす範囲	5年前と比較して				
		10年前と比較して				
オ	磯焼けの範囲	5年前と比較して				
		10年前と比較して				
カ	海洋ごみの量	5年前と比較して				
		10年前と比較して				
その他	(自由記載欄)					

■環境保全につながる活動の状況や認知度について

**設問6** あなたは環境に配慮した以下の行動に取り組んでいますか。

(項目ごとに○印を1つ付けてください)

	取 組 み 状 況	取 り 組 ん で い る い つ も	取 り 組 ん で い る 時 々	取 り 組 ん で い な い	取 り 組 む 予 定 今 後
項 目					
ア	幼稚魚を漁獲しないように網目を拡大した漁具を使用している				
イ	環境負荷の少ない餌・残餌になりにくい餌を使用している				
ウ	海洋ごみの清掃を行っている				
エ	食害生物の除去等、藻場の保全を行っている				
オ	漁業体験等、海の環境教育を行っている				
カ	漁業関連のごみを排出した際には、適切に処理している				
キ	環境保全や地球温暖化に関する情報を積極的に収集している				
ク	その他( )				

**設問7** 設問6で1つでも「取り組んでいない」を選んだ方にお尋ねします。

「取り組んでいない」主な理由は何ですか。(2つまで)

- ア. お金がかかるから
- イ. 取り組む必要性を感じないから
- ウ. 取り組むきっかけがないから
- エ. どのように取り組めばよいかわからないから
- オ. 自分だけ取り組んでも仕方がないと思うから
- カ. 特に理由はない
- キ. その他( )

**設問8** 現在、事業活動にSDGs(持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成された国際的な目標)視点を取り入れることが注目されていますが、漁業にSDGsの視点を取り入れることに関心はありますか。(1つのみ)

- ア. 非常に関心がある
- イ. 関心がある
- ウ. あまり関心がない
- エ. 関心がない
- オ. わからない

**設問9** 漁業を営むうえで、気候や環境の変化への対策として取り組んでいることは何ですか。

(2つまで)

- ア. 水揚げする魚種を変えた
- イ. 養殖場での水温上昇対策を行っている
- ウ. 高温下でも品質を保つことができる貯蔵方法を取り入れている
- エ. 食害生物の除去などの藻場の保全を行っている
- オ. 回遊性魚類の生息状況の変化等の情報収集を行っている
- カ. 作業者(従事者)の熱中症予防対策
- キ. 特にない
- ク. その他( )

■環境保全の取り組みに関する考えについて

**設問10** 環境保全や地球温暖化防止の取り組みを行うことについて、どのように考えていますか。

(2つまで)

- ア. 社会的責任から必要である
- イ. 新しいビジネスチャンスが期待できる
- ウ. 商品のイメージアップが期待できる
- エ. 社会的要請から、重要である
- オ. 取引上の要請から、重要である
- カ. 規制基準を順守する観点から、重要である
- キ. その他( )

**設問11** 今後、市に取り組んでほしい施策はどのようなものですか。(3つまで)

- ア. 水資源や土壌の保全
- イ. 里山の保全・再生
- ウ. 下水道の整備等
- エ. 漁業に関する環境教育・環境学習
- オ. 市民と漁業者の協働の支援
- カ. 地産地消の推進(消費者への周知など)
- キ. 自然災害の防止
- ク. 外来生物対策
- ケ. 気候の変化への適応
- コ. その他( )

■最後に、あなたのことについてお聞きます。

あなたの所属されている組合をご記入ください。

( )漁業協同組合 ( )支所

あなたの年齢を以下の中から選びください。

ア. 10 歳代    イ. 20 歳代    ウ. 30 歳代    エ. 40 歳代    オ. 50 歳代  
カ. 60 歳代    キ. 70 歳代    ク. 80 歳代以上

■おわりに

このアンケートや市の環境に関するご意見などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。  
8月28日(金)までにご回答(ご投函)いただきますよう、お願いいたします。